

# 令和4年度(2022年度) てがたん予定表

毎月第二土曜日 10:00~11:00\* (雨天中止)

要申込\*・参加費100円 (中学生以下は無料)

観察場所：鳥の博物館周辺

年	日付	テーマ	内容
2022	4月9日	キジも鳴かずば見られまい	春になると、キジの雄は目立つ場所に出てきて「ケン、ケン」と大きな声で鳴きます。なぜこのような行動をするのでしょうか？キジをじっくり観察してその暮らしに注目してみま
	5月14日	たよって生きる つる植物	他の植物にからんで生きるつる植物。そこにはどんな戦略があるのでしょうか。身近にあるつる植物を探して観察してみま
	6月11日	元気に育て！鳥のヒナ	6月は多くの鳥のヒナが巣立つ季節です。ヒナへの餌運びの様子や、ヒナの鳴き声などを観察してみましよう。鳥にとって子育てしやすい環境を一緒に考えてみましよう。
	7月9日	てがたん樹木検定・夏編	いつも見てるこの木、何の木？まるい葉っぱ、細長い葉っぱ…葉っぱの形もいろいろです。さいごに、葉っぱの特徴から木の名前を当てる検定にチャレンジします。
	8月13日	外来種ってどんな生きもの？	よく耳にする「外来種」は生態系や人間の暮らしにどんな影響を与えるのか、どうやってつきあっていけばよいのか、一緒に考えてみましよう。
	9月10日	手賀沼のサギのなかま	手賀沼には様々な種類のサギが生息しています。水辺の生活に適したサギの暮らしぶりをじっくり観察してみましよう。
	10月8日	ナメクジってなにもの？	花や作物を食べて困らせ、見た目もヌメヌメしていて嫌われ者のナメクジですが、私たちの身近に数多く存在しています。いったい何者なのか、考えながら観察してみましよう。
	11月5・6日	てがたん in JBF	我孫子の自然観察の魅力は、野鳥だけにとどまりません。鳥の好きなあなたに、我孫子の自然の楽しみ方をご紹介します。
	11月12日	歌で楽しむ自然観察	昔の人は、鳥の声や咲く花で四季の移り変わりを知りました。和歌や唱歌の中に、鳥や動植物の名前を探してみましよう。
	12月10日	ホオジロたちの暮らしかた	てがたんコースでは、冬に4種のホオジロ科の鳥たちが見られます。それぞれ種の食べものや暮らす環境に注目して観察してみましよう。
2023	1月14日	冬鳥を楽しむ	手賀沼の周辺では、1年のうち、冬に鳥の種数と数が最も多くなります。てがたんのコースにはどんな冬鳥がいるのでしょうか？探してみましよう。
	2月11日	冬のヨシ原の生き物	手賀沼の岸に広がる「ヨシ原」には、どんな生きものが暮らしているのでしょうか。沼の生態系の中でヨシ原はどんな役目を果たしているのか、観察してみましよう。
	3月11日	ものまねチャンピオン・モズ	モズは漢字で「百舌」と書きます。これは、他の鳥の声を上手に真似することに由来しています。ものまねは何のために行われるのか、モズの暮らしを深掘りして考えてみましよう。

\*新型コロナウイルスの感染対策のため、開催時間や申込方法を変更することがあります。